

# ハンケイ 5

手をのばせば  
すぐふれられる。  
そんな世界を知るマガジン



LOW

2

## FEATURE

平安荘

川村 壽子 さん  
弘樹 さん

タビノネ

北辺 佑智 さん

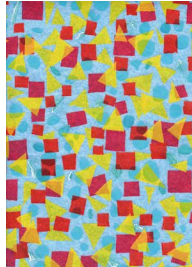
アドナース

鎌田 智広 さん



COVER ART OF HANKEI 5m

## 今号の表紙アート



Petit Pinceau  
official shop



### 「Petit Pinceau」のオリジナルファブリック

今号の表紙で使用したのは、創刊号に引き続き兵庫県神戸市で就労支援を行うアートセンター<sup>かなう</sup>叶の商品企画開発プロダクション「Petit Pinceau」より、森口浩太郎さんのオリジナルファブリック作品。

手先が器用な森口さんは、レジ袋などのプラスチックから三角や四角、丸のパーツを丁寧に切り出し、テキスタイルパターンを作るのが得意です。森口さんの作品の魅力は独特な色づかい。明るいピンクにくすんだモスグリーンを合わせたり。明度の違う色の組み合わせにセンスが光ります。Petit Pinceauの商品は、京都・四条烏丸の障がい者アートのアンテナショップ（詳細はP9）に並びます。プロのアーティストとハンディキャップを持つメンバーが共作する Petit Pinceau の洗練されたアートプロダクト。福祉業界の未来を明るく照らしてくれることを願っています。



刺繍も得意な森口さん。オリジナルキャラが47都道府県を旅するというストーリーで作品制作を行う。

# ハンケイ 5<sup>m</sup> vol.2

手をのばせば  
すぐふれられる。  
そんな世界を知るマガジン

## CONTENTS

### FEATURE

#### 02…………… 川村壽子さん 弘樹さん

東山と鴨川を望む絶好の  
ロケーションが楽しめる  
バリアフリー旅館「平安荘」を営む

#### 06…………… タビノネ 北辺佑智さん アドナース 鎌田智広さん

障がい者アートの  
アンテナショップで  
障がい者就労の可能性を広げる

#### 10…………… 俊朗の映画話 薬剤師 DJ の音楽論

#### 11…………… ホホホのすすめ 僕の大好きなポッチャのこと

#### 13…………… ハンケイ 5m vol.2 発行にあたり

障がいを持つ

アーティストたちのアンテナショップ  
プレオープンイベントにて、  
加藤千明さんがお点前を披露！  
イベント詳細は、P9へ。



## 車いすおもてなし隊 新メンバー募集中！

テーブルでお点前をする茶道「盆略点前」<sup>ぼんりやくてんぜん</sup>は、正座をする必要がなく、車いすユーザーや、海外の方でも茶道を楽しむことができます。

そんなバリアフリーな茶道の魅力を国内外に発信しているのが「車いすおもてなし隊」です。大阪や東京など全国各地のイベントで多くの人々をおもてなしし、笑顔を届けています。コロナ禍においても安全に稽古を続け、オンライン茶会を開催するなど精力的に活動中！そしてこの度、新メンバーを募集することになりました。

現メンバーは未経験者ばかりでしたが、茶道裏千家助教・田中賀鶴代先生のもと、楽しく和やかに活動しています。茶道に興味がある方はもちろん、車いすでも簡単に着られる着物を着てみたいなど、「車いすおもてなし隊」の活動に興味がある方はぜひ一度ご連絡ください。



ハンケイ5m vol.1 では  
車いすおもてなし隊メンバー  
加藤千明さんのインタビューを掲載中

### 連絡先

株式会社アドナース  
【電話】075-754-6174 担当:上野  
ご不明な点などお気軽にお尋ねください。

車いすおもてなし隊ブログ  
<http://wheelchairmotenashi.blog.jp>

### 稽古について

稽古場は京都市内です。稽古は月1〜2回程度。コロナ禍の影響を受け、不定期開催しています。臨機応変に対応しているため、詳細はお尋ねください。

### 募集要項

●車いすユーザーの方  
●小さなティーポットを持てる握力のある方  
※盆略点前は、作法の中でティーポットを用います。  
●オンライン稽古に参加できる方  
(ネット環境があり、メールでのやりとりが可能な方)  
年齢、性別、障がいの有無は問いません。



ADNURSE

sponsored by  
株式会社アドナース



「旅館ならではの  
京都の時間を  
味わってほしいから。  
誰にとっても、  
やさしい旅館であるように」



東山と鴨川を望む絶好の  
ロケーションが楽しめる  
バリアフリー旅館「平安荘」

女将・川村壽子<sup>としこ</sup>さん  
夫・弘樹<sup>ひろき</sup>さん

## FEATURE 1

らではの京都の時間を感じて、くつろぎながらお楽しみいただきたいです。

使う人の目線で追求した  
「使いやすさ」

入り口のスロープ、車いすの高さに合わせたテーブルやシンク回り、広々としたトイレ。壽子さんの言葉通り、部屋の随所に、おもてなしの心配りが満ちている。

とりわけ、トイレはこだわりが詰まっている。車いすでも楽に出入りできるよう間口は大きく取り、可動式の手すりを取り付けた。利用者と介助者の双方にとって使いやすい設備となるように、設計士と何度も議論を重ねたという。

入り口から一直線に移動できるテ

「旅の楽しみ」と聞いて、あなたは何を思い浮かべるだろう。思わず目を奪われるような絶景か、はたまた、季節の食材が織りなす素晴らしい料理だろうか。長い歴史が息づく京都の街は、心躍る旅の楽しみが詰まっている。訪れる度に新しく気持ち、通うほどに知る奥深さこそ、京都を旅する魅力といえる。

そんな京都の街の中心部、四条河原町にほど近い木屋町通仏光寺に、三代続く旅館「平安荘」はある。女将の川村壽子さんと夫の弘樹さん夫婦2人で営む小さな旅館ながら、足繁く通う常連客も数多い。

高瀬川沿いの桜並木に面した「平安荘」の門をくぐり、一歩、打ち水に濡れた石畳みの路地に踏み入る。街の喧騒はたちまち遠のき、昔なが

らの京町家の佇まいを残した建物が静かに出迎えてくれる。目前を流れる鴨川のせせらぎと東山の峰々を望む客室は、静謐<sup>せいひつ</sup>さとくつろぎに満ちている。

宿は、やはり旅館が良い。豪奢<sup>こうしゃ</sup>なホテルでは決して味わうことのできない、温もりと呼ぶべき旅の時間が、京都の旅館には確かにある。

そんな「京都の旅館ならではの時間」をもっと多くの人に味わってもらいたい。車いすでも、障がいがある人も、全ての人たちに同じように「京都の旅」を楽しんでほしい――。その思いから「平安荘」は2021年春、1階客室をバリアフリー対応に改修した。

「誰にとっても、やさしい旅館であることを目指しています。旅館な

ラスも、もちろん車いすに対応して

いる。向こうには東山の景色が広がり、すぐ足元を流れる鴨川には水鳥たちの憩う姿が見える。まさに「京都らしさ」がぎゅっと詰まったロケーションは、何よりも贅沢だ。

「春夏秋冬、折々の風景が楽しめます。特に桜の時期は見事です。車いす利用者の方は『こんなところ、初めて来たわ』と喜ばれる方も多いです」と話す壽子さん。昔ながらの木造建築は段差も多く、バリアフリーに対応した客室への改修は容易ではなかった。

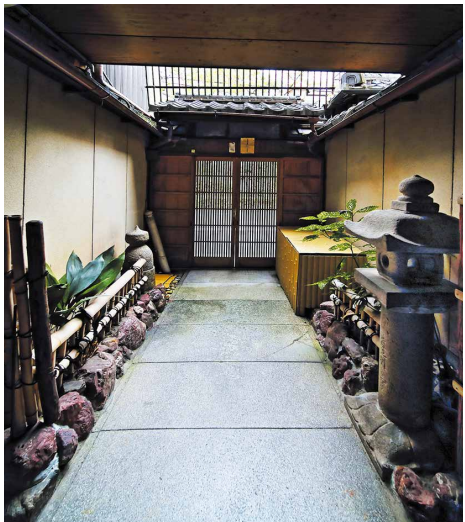
原動力になったのは、長男の晴樹さんの存在だ。晴樹さんは生まれた時から脳性まひがあり、現在も寝たきりで介護を必要とする。

壽子さんは子育ての中で、障がい





晴樹が、  
私たちとみんなを  
つないでくれました。



の有無によって選択肢が限られてしまいう現状を実感した。そこから、バリアフリー対応の旅館という新たな発想が生まれた。

「晴樹がいてくれたから、今がある。旅館業のアイデアだけではありません。先代の女将である義母をはじめ、私たちと多くの人を、つないでくれたのも晴樹です。だから、ここまでやってこれました」と壽子さんはいう。

#### 女将として、母親として。

戦後まもなく1945年に創業した「平安荘」は、代々、女将が旅館を切り盛りし、夫は外で働くという形で続いてきた。時期によって収入が大きく変わる旅館業を、安定的に営むための工夫だという。三代目の弘樹さんも、2年前に60歳で定年退職するまでサラリーマンとして勤務していた。

壽子さんは26歳で幼なじみの弘樹さんと結婚し、1990年に晴樹さんを出産。脳性まひがあり、24時間のケアを必要とする晴樹さんの子育てを一手に担いながら、義母である先代の女将を手伝ってきた。

「晴樹のことを、本当に可愛がっ

てくれるおばあちゃんでした。よく

ある嫁と姑の諍い<sup>いさか</sup>が一切なかったのも、晴樹のおかげかもしれません」

と壽子さんは笑う。その先代の女将もリウマチを患い、やがて介護を必要とするように。さらに、認知症となった義父の世話が重なる。

いやおうなく生活は介護中心となった。壽子さんいわく「ほっとする時間もないほど」の日々、訪問看護師やヘルパーさんの協力が助けになったと振り返る。

その頃、ふと目にしたテレビの番組で「車いすの京都旅行は、何十万円もの費用がかかる」と嘆く障がい当事者の声を紹介していた。

「晴樹を連れて旅行に行く時も、実際、泊まれるところといえばホテルしか選択肢がなかった。うちはせつ

かく旅館をしているんだから、車い

すのお客様にも泊まっていただいたいの思いました」。障がいがある子を持つ親として、当事者の気持ちが痛いほど理解できた。

「車いすや障がいの有無に関わらず、同じように京都の風情を楽しんでもらいたい」。旅館の女将であり、晴樹さんの母である壽子さんの思い。実現を後押ししてくれたのは、夫の弘樹さんだった。退職金をバリアフリー改修の費用にあてようと提案する。「私が外で働いている間、妻が家の中のことを一手に引き受けてくれていましたから。晴樹が今、こうして生きているのも全て、妻のおかげです」。

介護が重なる日々の中で壽子さんが描いた夢は、弘樹さんの応援を得

て、20年越しに結実した。

#### すべての人にとって、 心地よい旅の時間を。

多様な人たちを社会や地域が包み込む「インクルージョン」、障がいがある人や高齢者を含めた全員が平等に暮らすことを目指す「ノーマライゼーション」という言葉がある。難しく考える必要はないだろう。障がいの有無で何かを分けるという考え方を、離れてみる。ただそれだけのことで、これまでと違う景色が見えてくるはずだ。

取材当日、支援学校からの幼なじみという晴樹さんの友人2人が、「平安荘」のバリアフリー客室に集まった。車いすの3人が、同じ場所で、同じ時間を過ごす。開け放った窓か

ら入る風は、晩秋とは思えないほど暖かだ。陽光を受けて、鴨川の水面がきらきらと輝いている。

しばらくして、「ああ、そうか」と気付いた。「旅の楽しみ」とは、「生きることの楽しみ」でもあるはずだ。「おもてなし」とはきつと、「くつろぎ」を提供するための全ての努力をいうのだろう。

だから旅の時間は心地よく、どこまでもゆっくりと流れて行く。

「お客様の『ありがとう、また来るね』という言葉が、何より嬉しいです」と壽子さんはいう。「旅館は人と人がつながる場所。障がいの有無に関わらず、すべてのお客様にくつろいでいただけるように」。女将としての心構えが、十人十色の「旅の楽しみ」を作り出している。



車いすユーザーが3人も入れるほどの広々とした客室。息子の晴樹さん(中央奥)と晴樹さんの支援学校時代の友人たち。



上段)食事は希望に合わせてお弁当を準備。見た目鮮やかなやわらか食弁当も好評だ。中段)介護者が入っても十分なスペースのあるトイレ。おむつを入れるゴミ箱をトイレに設置するなど配慮が行き届く。下段)ベッド横の車いすの高さに合わせたシンク。使う人の目線で、内装や設備へのこだわりが随所に散りばめられている。



# 「障がいがあるからこそ、できる仕事を生み出したい」

障がい者アートの価値を、社会参加へつなげていくアンテナショップが誕生。障がい者就労の可能性を広げる、京都発の新たな挑戦。

株式会社タビノネ代表取締役

北辺佑智さん

株式会社アドナース代表取締役

鎌田智広さん

FEATURE 2

障がいがあるアーティストの魅力  
を、個性豊かなプロダクトを通して京都から世界に発信しよう、と、2022年1月、京都市の中心部に  
ある、からすま京都ホテル階にア  
ンテナショップがオープンする。

「障がいがあるからこそ、できる仕  
事を生み出したい」。その思いから、  
就労支援施設を運営する株式会社タ  
ビノネの北辺佑智さんと、訪問看護  
事業を手がける株式会社アドナース  
の鎌田智広さんが共同で運営を担う。

まだまだ課題が多い障がい者就労  
の現状を、京都から変えて行くため  
に。持続可能な障がい者福祉の実現  
に向けて新たなチャレンジを始める  
2人に、アンテナショップ開設に込  
める思いを聞いた。

障がいという壁を超える、  
アートの可能性

——障がいがあるアーティストの魅  
力的なプロダクトを集めたショップ  
が、京都の街の中心である四条烏丸  
に開店するインパクトは大きいで  
す。まずは北辺さん、障がい者福祉

との関わりについて教えてください。

北辺…僕はもともと、世界各地の生  
産農家から直接仕入れたコーヒー豆  
を焙煎して販売する「珈琲焙煎所旅  
の音」を起業し、現在はカフェ4店  
舗を経営しています。2年ほど前に  
「カフェが好きなので、ここで働きた  
い」という知的障がいの方が、アル  
バイトの面接に来られました。

当時はまだ事業を法人化する前で  
従業員の数も限られていて、結局、カ  
フェでの採用には至らなかった。そ  
の後、ずっと心に残っていたんです。  
「あの人は、いったいどこで働くのだ  
ろう」と。それがきっかけで、障が  
いがある人の就労や社会に出て働く  
ことに関心を持つようになりました。

——障がいがある人の就労支援を行  
う施設は2種類に区分され、それぞ  
れ雇用形態や賃金が異なっています  
が、いずれも、自立した生活を送るた  
めの収入には程遠いのが現状です。  
一般企業での雇用も広がってきてい  
ますが、障がいの程度による事業内  
容とのマッチングなど、解決に取り  
組まなければならない課題もありま  
す。

北辺…ちょうどその頃に、長崎県の





北辺さんが運営する就労支援施設B型事業所「UTAU」では障がいをもつアーティストを対象に、プロのイラストレーターや作家さんのワークショップを定期的に開催。福祉業界の商品力向上にも積極的に取り組んでいる。

佐世保市でアートの特化した就労支援施設があることを知りました。そこは、障がいがあるからこそ生まれる個性を、デザインや表現に取り入れ、ハイセンスな商品を作っています。

「障がいがあってもできる仕事」ではなく、「この人だから、任せたい仕事」を生み出していた。その転換に衝撃を受けました。

カフェ事業だとある程度の業務内容が固まっていますが、個性によってできるものが違うデザイン分野は面白いし、可能性が大きい。「これだ」と思い、京都で就労継続支援のため「UTAU」を開設しました。プロのイラストレーターやテキストイル・デザイナーなど外部講師も招いて、障がいのある通所者の方と仕事に励んでいます。

やりがいでだけではなく、賃金の面でも還元できる仕組み作りにも取り組んでいます。

組んでいきたい。その一歩として、今回、アドナースの鎌田さんとご縁を頂き、一緒にアンテナショップを開設することになりました。

#### 社会の輪の中に「働く」場所を

——障がいのある人の在宅介護や看護を手掛けている鎌田さんは、どのような思いを託してアンテナショップに参画することになったのですか？

鎌田…僕は元々、病院勤務の看護師として医療の世界で働いていました。病院に来られる障がい者の方も、病気が治って退院すれば、自宅での普通の暮らしに戻っていく。でも、その健康な障がい者たちが活躍できる場所、働ける仕事は限られていて、チャンスは非常に少ないのが現実です。障がい者支援という事業

を通して、障がいがある人たちが社会に出ていくためのきっかけを作りたいという思いがありました。

——なるほど。「この人だから、任せたい仕事を生み出す」という北辺さんのお話とも共通する理念ですね。

鎌田…特に重度の障がいがある人たちは、高校卒業後に、社会に出るための居場所や仕事を用意されていないように感じています。仕事って、社会と自分をつなぐとても大事な要素だと思うんです。

子どもが将来、社会の中で仕事を得て、安定した生活を送ってほしいと願う親の気持ちは、障がいの有無に関係ありません。その意味でも、ものを作る工程のひとつの部分に障がいがある人が関わり、あえてひと手間かけることで新しい価値を生み



本誌「ハンケイ5m」の発行がきっかけとなり、今回のプロジェクトに参加した鎌田さん。フリーマガジンによる情報発信だけでなく、障がいを持つ人とそうでない人が交わるリアルな場としてのアンテナショップに希望を感じている。

出せたならば、社会の輪の中に「働く」場所が作り出せる。アートには、そういう希望があると考えています。

#### 消費が価値を生む、新しい挑戦

——アンテナショップでは「UTAU」のプロジェクトをはじめ、北辺さんが全国の支援施設からセレクトされた雑貨や菓子など、障がいがあるアーティストのさまざまな感性が光る商品が集まっていますね。

北辺…四条烏丸のアンテナショップは、「買ってあげる」のではなく「生活の中に取り入れたい」と顧客が欲しい、プロダクトの購入を通して、作り手の思いを心地よく感じ取れるような空間にしていきたいと思っています。先ほど鎌田さんがお話になっていたように、障がいがあっても社会の

中で安定した生活、自立した生活を送るという選択肢を持てるようにするために、持続的な循環を作り出す必要があります。

購入する消費者が増えれば、その分、作り手である障がいがある人に還元することができる。障がいがあるアーティストの商品が流通するマーケットを生み出すことも、僕の責任だと考えています。京都から全国へと、循環を広げて行きたいです。

——なるほど。「この人だから、任せたい仕事を生み出す」という北辺さんのお話とも共通する理念ですね。

みは、そういう新しい価値を作っていくチャレンジだと思っています。商品の購入という形で、多くの消費者の方々も一緒にチャレンジに参加してもらうために、これから、どんどん情報発信していきたいですね。



2/4

四条烏丸にて 障がいを持つアーティストたちのアンテナショップ

## Things Market UTAU & ハンケイ5mショップがオープン予定！

全国の福祉施設で生み出されているさまざまなアートプロダクトから「生活の中に取り入れたい」と思うような魅力的な商品をセレクト。本企画の趣旨に賛同した7～10のショップのアイテムがお店に並びます！

1月9日～16日、プレオープンイベント開催

(車いすおもてなし隊・加藤千明さんのお点前披露も予定！)

ショップ住所：京都府京都市下京区烏丸通り四条下ル からすま京都ホテル内1F  
(京都市営地下鉄「四条駅」南出口6番 徒歩1分、阪急「烏丸駅」西出口23番 徒歩1分)

最新情報はこちらで随時アップしています！



ホームページ



Instagram

クラウドファンディング挑戦中！



「京都の中心地に障がいを持つアーティスト達のアンテナショップを作りたい」



## Recommended Movie's 俊朗の映画話

年間100本映画を見る  
俳優・福山俊朗の映画コラム



福山 俊朗

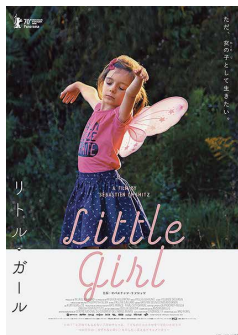
神戸大学在学中に劇団そとばこまちに入団、15年間に籍しフリーに。舞台・テレビ・映画に多数出演。FMラジオのDJ、歌のお兄さん、映画監督などマルチに活躍中。

昨今の社会の風潮を見て「LGB TQにもある程度の理解が得られるようになってきたかも」とのほほんと思っていた自分を恥じたくなるドキメンタリー映画でした。世の中そんなに甘くはなかった。男の子の身体を持って生まれたサシャは2歳の頃から自分のセクシャリティは女の子だと自覚しています。それは一時的なものではなく、7歳になって学校という社会に出て自他というものを認識した上でも変わることはありませんでした。医学をはじめとする今の科学では説明ができないことかもしれません。しかしサシャにとっては「自分が女の子である」ことは紛れもないリアルなんです。そんな自分にとっての真実を追求すること（サシャは単純に女の子の洋服が着たいだけです）を邪魔する理由がどこにあるのでしょうか？ 自分らしく生きるために家族と共に周りに働きかけては何度も打ち碎かれたサシャが「戦うことに意味なんかない。頑

張っても無駄」と呟くシーンには目を覆いたくなりました。7歳の女の子にこんな言葉を言わせてしまう社会って？ 絶望感に苛まれる中、唯一の救いは全力で彼女を支えようとする家族の愛でした。特にサシャのお兄ちゃんは聡明で素晴らしい、彼みたいな人に世界を変えていつてもいいと思います。多分まだ10歳くらいですけど、○○な大人よりよっぽど人格者でした。

### リトルガール

2020/フランス/85分  
監督:セバスチャン・リフシッツ  
©AGAT FILMS&CIE-ARTE France-Final  
Cut For real-2020



## Recommended Books ホホホのすすめ

ホホホ座座長・山下賢二が  
語るおすすめブックス談



山下 賢二

出版社勤務や書店店長経験を経て、2004年に「ガケ書房」を開業。翌年移転・改名し、本屋であり雑貨屋でありお土産屋でもある店「ホホホ座」をオープン。



### ホホホ座浄土寺店

京都市左京区浄土寺馬場町71 ハイネストビル1F  
営業時間 11:00~19:00(無休)  
TEL 075-741-6501  
http://hohohoza.com

僕のフェイヴァリット作家のひとつ、芥川賞作家・野呂邦暢は、1980年に心筋梗塞で43歳の若さで亡くなっている。小説では美しい文体の中に厳しさや哀しさがあり、随筆では例えば喫茶店などで読んでいると、まるで珈琲の深みが増すような芳醇な感性、美意識を感じさせられる。この本には、彼が愛した神保町、早稲田界隈の古本屋のスナップ写真が収録されている。

文庫化の際に、野呂邦暢の古本にまつわるエッセイと編者による対談も収録され、お得な内容となっているが、「日常風景」ゆえに誰も撮ってこなかった、かつての古本屋の佇まいを文庫という形で残せた稀有な資料本ともいえるだろう。



### 野呂邦暢古本屋写真集

岡崎武志  
古本屋ツアー・イン・ジャパン  
(ちくま文庫)  
1,100円(税込)

## Recommended Music 薬剤師DJの音楽論

ゆう薬局の薬剤師による  
イチオシ音楽紹介



船戸 一晴 (キャッチー船戸)

ゆう薬局の薬剤師、ラジオパーソナリティ、DJ。FMたんご:みゅ〜じゅ〜ばふえCatchy(水曜12時〜)。FMまいづる、Radio Mix Kyoto:Premium Kyoto(月曜16時〜)。

はじめまして。船戸と申します。音楽好きの薬剤師として、ゆるゆるオススメの音楽を紹介いたします。さて、私が最近DJとしても尊敬しつつ頭が上がないのがエルトンジョン。今年デューア・リパとのコラボ曲「Cold Heart (PNAU Remix)」(名曲!)で8度目の全英一位に輝きました。そんな彼の活動の大きな基盤になっているのがラジオです。

Apple Music内ラジオ番組「Rocket Hours」、その選曲の取り組みが半端ない! 毎週末発売される新譜リストを毎回入手して自分で音源を購入し続け、Appleから送られてくる大量の新譜もチェックしているそうです。

(現役トップDJの仕事ぶり)。「私は74歳ですが、今ではレコードを走って買いに行っていた子供の頃と同じくらい、音楽を楽しんでいます」と自身で述べるように、純粋に新しい音楽や若いアーティストとの

出会いを楽しんでいる様子が素敵だなあ……と思います。苦労した生い立ちやマイノリティ(早くからゲイを公言し同性婚されています)としての経験がクローズアップされることも多いですが、元来から本当に優しい人なんだろうなあ……というのが音楽とその活動から滲み出ています。そして、ネタにされる事も引き受ける(映画キングスマン!) 懐の深さがあるって、今も若手を尊重し学ぼうとしている……こんな70代になりたいですねえ。

そんな豊かな交友関係から生まれたのがコラボレーションAL「The Lockdown Sessions」。中でもオススメは、自身もパセンセシャルを公言しているイギリス在住日本人アーティストRINA SAsAYAMAとのデュエット曲「Chosen Family」。LGBTQ+コミュニティのアンセムになっているこの曲、全ての人を暖かく肯定する力を持っています。

## Recommended Sports 僕の大好きな ポッチャのこと

その① 出会い  
トヨタカラー京都の  
ポッチャ普及活動コラム



田中 孝洋

トヨタカラー京都の広報担当。障がいのあるなしに関わらず老若男女が楽しめるスポーツ、ポッチャの普及に力をいれる。

自分の人生に向き合い、考えることが何度あっただろう。自分の趣味を思い返すと、浅く広く色んなことに興味を持ち、一人ですることが多かった。料理を作ったり、本を読んだり、海外ドラマをみたり……。もしかしたら他者との関りを避けていたのかもしれない。

そんな私がポッチャに出会ったのは丁度5年前。存在は知っていたが、自分が普及活動に携わるとは思っていなかった。ポッチャを初めて体験した時、純粹に「オモシロイ」と思った。不思議なのは、初めてなのに、小さなころから続けてきたように思えたこと。そしてこのスポーツを生涯するのだろうと予感した。そんな瞬間に出会えることは、四つ葉のクローバーをみつけるように幸運だと思う。ポッチャには2つの魅力がある。一つは多様な人が一緒に競い合えるところ。老若男女・障がいの有無・体格や体力差はあまり関係なく、勝つという目標に向かい、チームで技

術を向上させる。もう一つはゴールが定まっていなくていいところ。ゴールを近くにも遠くにも置いて、途中でゴールが動いてもいい。そんなルールに優しさも感じた。

ポッチャは他者を知るきっかけとなるスポーツだ。知ることは、人との「つながり」を創り、広げられる。そんなポッチャに私はますます魅かれ、もっとポッチャの認知度を高めたいと思った。感謝したいのは、勤め先の社会貢献事業として、ポッチャの普及活動に取り組めるようになったことだ。最初から順風満帆ではなかったが、会社の上司や仲間たちが追い風となってくれた。ポッチャを始めてから、私の趣味と特技はポッチャになった。少し上達したころ、「ありがとう」を言うことも、言われることも増えて、人と話すことが増えた。ポッチャ好きが増えて、関わる人達のことを想い、考えることも増えた。そして、私の人生は少し楽しくなった。

# ハンケイ500m

手をのばせば  
すぐふれられる。  
そんな世界を知るマガジン

## vol.2 発行にあたり

思いもよらないところで  
自分が人を助けていることが  
あるかもしれない。  
そう本当に信じられる瞬間が  
取材中にありました。  
円城新子(編集)

「あなたがこの世で見たいと願う変化に、  
あなた自身がなりなさい。」  
(byマハトマ・ガンディー)。  
そうか、この世の変化は  
私自身の行動から始まるんだ。  
呉玲奈(編集)

障がい者アートを扱うショップは  
まだまだ少ないそうです。  
手間と時間のかかる  
愛しいアートプロダクトたちが  
四条烏丸でじっくり見るのが、楽しみ！  
山田梨世(編集)

「ゆく河の流れは絶えずして、  
しかもとの水にあらざ」とは方丈記。  
角度を変える、時間を変える、言葉を変える。  
見慣れた景色が、違ったように見えてくる。  
人生も然り、とか。  
龍太郎(ライター)

どう配置しても  
素敵なデザインが生まれる。  
Petit Pinceauさんの  
ファブリック(表紙)の  
魅力に取りつかれ中！  
森 華(デザイン)

『楽しいって楽(らく)であること』  
改めて感じた平安荘でした。  
辻正美(カメラ)

バリアフリーは障がいのある方だけでなく  
健康者にとっても快適な暮らしのために  
必要な事ですね。  
北原靖浩(デザイン)

ハンケイ5mとハンケイ5mをつないで、  
またハンケイ5mをつないで。  
どこまでもいけちゃいますね！  
鎌田智広(スペシャルアドバイザー)

身近なことを注意深く大切に、  
時を重ねていきたいと思いました。  
中山みゆき(編集)

最近、自分が骨折し不自由な生活を経験したことで、  
取材した方々の想いをより身近に感じることができました。  
北村匠海(編集)

# ハンケイ500m

手をのばせば  
すぐふれられる。  
そんな世界を知るマガジン

2021年12月20日発行

発行 株式会社アドナース  
京都市西京区大原野西境谷町2丁目14-10  
075-754-6174  
株式会社union.a  
京都市左京区北白川西平井町22-2  
075-724-0410

企画・制作 株式会社union.a

Staff 円城新子  
呉玲奈  
中山みゆき  
北村匠海  
山田梨世  
龍太郎  
辻正美  
北原靖浩  
もりはなぐみ

スペシャルアドバイザー 鎌田智広

## RECOMMENDED CINEMA

### 京都シネマおすすめ映画

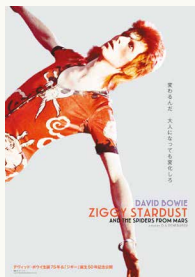


1/2(日)公開  
**夜空に星の  
あるように**  
Poor Cow | 1967 | 英 |  
102分 | 監督:ケン・ローチ  
©1967 STUDIOCANAL FILMS LTD.  
<https://yozoranihoshi.com>

「麦の穂をゆらす風」(06)、「わたしは、ダニエル・ブレイク」(16)でカンヌ国際映画祭パルム・ドール(最高賞)を2度受賞しているイギリスの巨匠ケン・ローチ監督。その長編映画デビュー作を53年ぶりにリバイバル上映する。ロンドンの労働者階級に生まれた18歳のジョイが、夢と現実のはざまで揺れ動きながら生き抜いていく様子を、厳しくも温かい眼差しで描いた。

上映情報のご確認はこちら  
京都シネマ [www.kyotocinema.jp](http://www.kyotocinema.jp)  
📍京都市下京区烏丸通四条下西側 COCON 烏丸3F ☎075-353-4723

### 京都みなみ会館おすすめ映画



1/21(金)公開  
**ジギー・  
スターダスト**  
2002年サウンドリミックス・  
デジタルレストア版  
1973 | 英 | 90分 |  
監督:D・A・ベネベーカー  
©Jones-Tintoretto Entertainment  
Co.,LLC

デヴィッド・ボウイ生誕75年、そして「ジギー」誕生50周年記念公開！ 1973年7月3日、デヴィッド・ボウイは、ロンドンのハマスミス・オデオンでツアー最後の公演を敢行。異星からやってきたスーパースターに扮し、「チェンジズ」など数々の名曲を演奏する。やがてアンコールの前にボウイの口から衝撃の発言が飛び出し……。希代のロック歌手デヴィッド・ボウイが行った歴史的コンサートの模様を収録したドキュメンタリー。

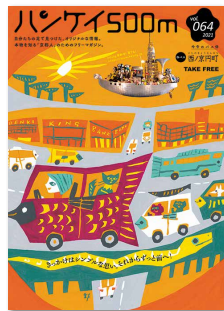
上映情報のご確認はこちら  
京都みなみ会館 <https://kyoto-minamikaikan.jp/>  
📍京都市南区西九条川原城町110 ☎075-661-3993

フリーマガジン 自分たちの足で見つけた、オリジナルな情報。本物を知る「京都人」のためのフリーマガジン。

# ハンケイ500m

昔から京都の本物を支えてきたのは、伝統的な職人の技。そんな京都の土壌における「職人」というキーワードに着目し、独自の哲学・こだわりを持った現代の「職人」を、ひとつのバス停から半径500mに限定して、じっくり探索。そこで再発見した「京都らしさ」を、皆様にお届けします！

京都市地下鉄全駅、京都市内各所にて絶賛配布中！  
バックナンバーは [www.hankei500.com](http://www.hankei500.com) 毎奇数月 10日発行



ハンケイ500m公式Twitter  
[@hankei500](https://twitter.com/hankei500)

ラジオ 『ハンケイ500m』のこぼれ話が聴けるラジオ。

## ハンケイ500m × KBS京都Radio サウンド版

KBS京都Radio  
FM 94.9  
AM 1143

『ハンケイ500m』がラジオ番組になって、オンエア中！ パーソナリティはサウンドロゴクリエイターの原田博行さんと、円城新子編集長。耳で聞く「あるバス停から『ハンケイ500m』の物語」は、雑誌とはまた別のおもしろさがあります。ポッドキャストでも聞けますよ！

▶▶▶ PodcastでMP3をダウンロード ▶▶▶▶  
▶▶▶ radikoまたはラジオで聴く  
KBS京都ラジオ 毎週土曜17:00～18:00



フリーマガジン 『ハンケイ500m』がつくる就職情報誌。

# おっちゃんとおばちゃん



年4回発行(5月、8月、11月、2月)/A4変形判/オールカラー/関西一円の大学、ハローワーク、その他で配布



おっちゃんとおばちゃん 検索  
<https://occhan-obachan.com>

本誌『ハンケイ5m』を発行するユニオン・エーが手がける、若者向けの就職情報誌『おっちゃんとおばちゃん』。おかげさまで創刊して6年が経過。「いい人材に出会えた」と好評をいただいています。  
その理由は、『ハンケイ500m』のノウハウを駆使した、掲載企業の徹底取材にあります。大学生や求職中の若者が「本気で人生を賭けたい」と、心に響く誌面を追求しています。得てして、自社の魅力は、経営者ご自身はわかっていないもの。第三者であるユニオン・エーが客観的な目線で書くからこそ、生まれる説得力を大切にしています。  
社長の仕事観、社員の実感値。企業が目指すビジョンを、今どきの若者に刺さる言葉に変換して伝えます。取材を通じ、自社の強みを再発見するという採用担当者の声も寄せられます。

WEB 京都に根差した情報誌×新聞社による新しいWEBメディア。

ハンケイ500m × 京都新聞

# ハンケイ京都新聞

「京都らしさ」とは、  
何だろうか。



hankei500.kyoto-np.jp





*union.a*